

ジャパニーズ・スタイル

和洋融合。新しい手提げバッグ、ミナレス【minalles】登場。

江戸袋物の代表格『合切袋』の新たなスタイル。

薄さ 8 mm。重さ 100g。 薄くて軽い。伝統的で新しい。

お土産、贈答品、記念品としても最適な手提げバッグ。

皇室方がお使いになられる和装バッグの制作も手掛ける、60余年の歴史を有する裂地ハンドバッグ製造卸のパイオニア『有限会社プレジール』（東京都世田谷区桜丘 4-17-12 / 代表取締役：梅澤輝夫）は、江戸袋物の代表格「合切袋」の製法はそのままに現代風にアレンジした、新しいスタイルのオリジナル商品となる手提げバッグ「ミナレス【minalles】」の取り扱いを2017年3月より開始します。

【商品化経緯】

東京が「江戸」と呼ばれていた頃から根付いていた「江戸袋物」の代表格として、和装のみならず洋装にも取り入れられ、お祭りの際などにも「粋」を演出するアイテムとして重宝されて来た合切袋。この合切袋は、一切合切なんでも入れられる事からこう名付けられ、軽くて使いやすい巾着タイプの手提げバッグとして、今なお根強く人気のある袋物商品の一つです。

- ① バッグ本体には内側のポケットの取り付け部分を除いて縫い目が一切見えない製法「縫い返し」
- ② 江戸打ち紐を使用した持ち手
- ③ その紐を通す「コキ」
- ④ 「コキ」をバッグ本体に取り付ける際に打ち込む釘を「かなくる」製法

など、注目して頂きたい江戸時代から代々受け継がれてきた合切袋のレガシーや合切袋が持つ「和」の雰囲気はそのままに、もっとカジュアルに、もっと日常的に使って頂きやすい商品とすべく、新しいスタイルの手提げバッグとして現代風にアレンジしたのがこの「ミナレス【minalles】」となります。

職人が1本ずつ柄取り良く手作りで仕上げる、まさに大量生産では生み出す事の出来ない「ミナレス」は、表生地にはデニム、ウルトラスエード（人工皮革）、輸入生地などを、裏地には正絹の着物地である「小紋」を使用。「和」と「洋」を絶妙に融合させ、また生地を取り方が1本ずつ異なるため、同じ柄取りの商品が他には存在しない、世界に一つだけのバッグとなることも特徴です。

【見直されるジャパニーズ・スタイル】

日本国内のみならず、世界中で日本文化が見直されつつある昨今、その代表的な伝統文化の一つとして挙げられる着物にも注目が集まっています。2020年に東京でのオリンピック・パラリンピック大会の開催も決定し、着物文化への国内外での注目度は益々増えています。

プレジールはこのミナレスを

- ・着物を既に日常に取り入れている方には、そのライフスタイルに更なる彩を添えるアイテムとして

・伝統的なもの、「和」への憧れを日々強めている方には、簡単に、身近に「日本」を感じる事の出来るアイテムとしてご提案致します。

【仕様】

ミナレス S

縦 18cm、横 28cm、厚み 0.8cm

重さ 100g 前後（使用する表素材によって異なります。）



ミナレス L

縦 23cm、横 28cm、厚み 0.8cm

重さ 100g 前後（使用する表素材によって異なります。）



※OEM での生産も承ります。どうぞお気軽にお問合わせ下さい。

【リリースに関してのお問合わせ先】

有限会社プレジール

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘 4-17-12

電話：03-6413-1656 e-mail: info@plaisir-bag.com

担当 / 取締役 梅澤剛臣

<http://www.plaisir-bag.com>